

## 学Yのインドスタディキャンプって?(趣旨)

1991年に2名のキャンパーから始まったこのインドスタディキャンプは、日本YMCA同盟の主催の下、今回で20回目を迎えます。これまでに延べ138名の学生たちを派遣してきました。

このキャンプでは、南インドの都市部であるバンガロールと農村部であるカニャクマリに滞在し、人々との出会い、異なる文化での体験、差別や貧困といった社会的課題についての学びを通して、自らの生き方を考えます。



カニャクマリにあるセント・ボニファス・アンバハムでは、貧困のゆえに家族と共に暮らせない子どもたちと共に過ごし、本当の「貧しさ」「豊かさ」とは何か、この世界の現実を目の当たりにします。また、山積する社会的課題やより弱い立場の人たちのために、草の根で働く人たちが団体(YMCAやマザーテレサブランチなど)への訪問では、「誰かのために生きる」「人に仕える」働きに触れ、私たちに何ができるのかを問われるでしょう。多くの出会いと学びの積み重ねから、キャンパーたち一人ひとりに、この社会や価値観に対する問題意識が芽生えます。

またキャンプ中は、聖書を共に読みながら、一日の振り返りと自らの体験や思いを分かち合います。一人ひとりの問題意識や考えに深く思いめぐらし、互いの違いをも受け入れ合う対話の時間によって、このキャンプをより深く味わうことができます。

さあ、インド/アジアに出会い、新しい自分/生き方に出会う旅に出かけましょう。

## キャンプの目的とは?

- ①アンブマナイボーイズホームやセントボニファスアンバハム※での出会いと体験を通して、アジアへの視点を育てる。  
(※現地受入れ責任者のスレッシュ氏が運営する、貧困家庭の子どもたちのための施設。4歳~16歳までの子どもが共同生活している。)
- ②インドの学生キリスト教運動(インド SCM)との交流から、インドの社会的状況・課題の学びを深める。
- ③YMCAやマザーテレサの家など草の根で活動する団体を訪ね、インド社会の現実とNGOの働きの大切さを学ぶ。
- ④帰国後、報告書や報告会を通して、この体験を日本の学生YMCA、都市YMCAの青年と分かち合い、各活動の活性化につなげる。

## キャンプ実施期間は?

■ 2015年2月18日(水)~3月7日(土)

※1月24日(土)または25日(日)に事前オリエンテーション(半日・東京)を行いません(要出席)。

※2月18日(水)と3月7日(土)は集合・解散日(東京)。  
※なお、都合により日程が変更となる場合はご了承ください。

## キャンプ中の滞在先は?

- アンブマナイボーイズホームおよびセントボニファスアンバハム (タミルナドゥ州カニャクマリ)
- インドSCMハウス (カルナタカ州バンガロール)

## 参加費用について

**210,000円(渡航費および現地滞在費・事後研修費含む)**

※このキャンプにはワイズメンズクラブ国際協会東西日本区よりご支援金を頂いて実施しています。  
※ビザ取得費用・海外旅行傷害保険・予防接種代、国内移動費、また準備にかかる個人費用は含まれていません。また燃料費高騰のため21万円を超える可能性もあります。

## 募集条件について

- 募集人数:8名前後(グループの構成上、書類選考有り)
- 学生YMCAおよびYMCAの活動に関わり、所属YMCA責任者の推薦を受けられる方(推薦文必須)
- 趣旨・目的を理解し、キャンプ前後の準備や報告書作成などの責任を果たせる方。
- グループ行動ができる協調性があり、異文化社会での生活(食べ物・気候・移動)に順応性がある方。
- 英語のコミュニケーション(日常会話)が可能な方。
- 未成年者は保護者の同意が必要になります。
- 予防接種が必要となります。

## 申込方法・締め切りはこちら!!

参加申込書に必要事項を記入の上、締切日までに下記事務局までお送りください。なお、パスポートのコピーも同封してください。

※パスポートを未取得/取得中の場合はご連絡ください。

**2015年12月19日(金)必着**

※なお、最少実施人数(5名)を満たさない場合や、国際情勢等の影響で中止となる可能性もあります。ご了承ください。

## 【お申し込み・お問い合わせ】



公益財団法人日本YMCA同盟  
全国協力 学生YMCA  
横山由利亜・森 小百合

〒160-0003 東京都新宿区本塩町7

TEL: 03-5367-6645 / FAX: 03-5367-6641

E-mail: info@ymcajapan.org

日本YMCA同盟 HP: www.ymcajapan.org/

～過去参加者の声（抜粋）～

◇インドでの経験と今自分が日本にいることは、決して分断できないものだ。こんなにインドを恋しく思うのはたぶん刺激的な毎日だったから。そしてあの子どもたちと出会い、つながりが出来たからだ。  
(竹中亨彰・熊本大学 YMCA)

◇毎日みんなで聖書を読み、一日を振り返り、心に抱えている思いを出しあった。観光旅行や一人旅にはない、共に笑ったり怒ったりしながら互いの声を聴き合う時間があったからこそ、私たちはかけがえのない仲間になった (白河榮・東北大学 YMCA)

◇このキャンプでの経験、出会った人々、私の感情、キャンパーとのかけがえのない時間、巨大なクモの巣のように絡まった複雑な世界の問題、自分の心に消えずに膨らみ続けるモヤモヤ。これらは私の生涯の財産だ。(渡邊つぐみ・関西学院大学 YMCA)

さあ、人生を変える旅に出かけよう！

私にとってインドでの経験は、人生の分岐点となるものでした。知らない文化、初めて出会うアジアに生きる人たち、なじみのない言葉や早口の英語、食欲をそそるカレーの香り、貧困と差別の中を生きる子どもたちの強さと悔しさ、日本では味わえない体験の数々を通して、「私が生きること」を問い直されてから約 10 年。インドでの出会いと学びが、今の私を作っています。

とにかく海外に行ってみたい、いろんな人と知り合いたい、美味しいものを食べたい、英語で生活してみたい、思い切り子どもたちと遊びたい、自分を成長させたい、何か変わりたいなど、キャンパーの動機はさまざまです。けれど、みんなに共通して言えるのは「行ってみなければ分からなかったことが、インドにはたくさんあった」ということです。

ありのままの自分をさらけ出し、楽しいことも失敗することもありながら、生きる意味を再発見したり、自分自身を取り戻したりできるのは、学生 Y M C A インドスタディキャンプだからこそ。

きっと自分の小さな一歩から、大きな可能性が広がることを実感できるでしょう。

あなたを魅了する学生 Y M C A のインドスタディキャンプへ、一緒に出かけてみませんか？

みなさんのご参加を心よりお待ちしております。

森 小百合

(第 19 回引率スタッフ・同盟スタッフ)

2014年度 第20回  
学生 YMCA  
インドスタディキャンプ  
〈募集要項〉

日程：2015年2月18日～3月7日

場所：インド（カルナタカ州・タミルナドゥ州）



(セントボニファスアンバハムの子どもたちと)

インドでの過ごし方って？(ある日のスケジュール)

時間帯	スケジュール
午 前	朝の礼拝、朝食、子どもたちと遊ぶ、子どもたち学校へマザーテレサランチへ訪問
午 後	昼食、滞在先(セントボニファス)に戻り休憩、帰ってきた子どもたちと遊ぶ
夕方～夜	夜の礼拝、子どもたちと遊ぶ、夕食、現地受入れスレッシュさん家族と語り合う、聖書を読む会と振り返り、就寝

主催：日本 YMCA 同盟全国協力  
学生 YMCA  
協力：学校法人アジア学院  
ワイズメンズクラブ国際協会  
東西日本区